

じょうこうじ

# 掟光寺だより

令和5年  
7月号

## 行事案内

●7月15日(土)  
「虫供養&清正公&鬼子母神」

13時30分から



## 七夕について

### 【七夕とは?】

七夕は七月七日に行なう星祭りです。七夕の日は、一年に一度だけ織女と彦星が天の川の上でデートをする日と言われ、この時に願い事を書いた短冊を笹の葉につらし、織姫星に技芸の上達を願う行事です。



### 【織姫と彦星伝説】

みなさん、織姫と彦星伝説がどんなものだったか説明できますか。簡単にまとめると次のような物語です。ちなみにこの物語は発祥は日本ではなく中国です。

天帝の娘である織女は、機を織るのが仕事です。しかし仕事ばかりする織女を心配した天帝は、娘を天の川の向かい岸にいる彦星と引き合わせました。すると二人は恋に夢中になって仕事を全くしなくなってしまうました。それをみた天帝は怒り、二人を天の川の兩岸に引き離してしまいました。二人の様子を哀れに思った天帝は、一年に一度、七月七日の夜にだけ会うことを許しました。しかし、七月七日に雨が降ると天の川の水が増水してわたることができないので、カササギが二人の橋渡しをします・・という話。

なかなか天帝の理不尽さがすごいお話ですね笑

この話が日本の神事の一つ「棚機」とくつつつき、その他の文化を取り入れながら今の七夕ができたと言われています。

棚機とは着物を織る際に使用された機織り機のことです。これは神様に豊作を祈る行事で、稲の開花時期に農村部で盛んに行われました。神様を迎えるために、村の娘が水辺の小屋にこもって着物を織り、棚に供えていたそうです。

### 【七夕と仏教】

実は七夕は仏教行事とかかわりがあるという説もあります。旧暦の7月と言え、今の8月にあたりますから、仏教行事「お盆」とかわりがあるわけです。

七夕は別名「棚幡」と書き、お盆の時、ご先祖様を迎える「精霊棚」に安置するはたのことであります。

### ▼幡と精霊棚



お盆を迎えるのにあたっての準備ははじめが七月七日であり、七日の夕方から精霊棚を設け、幡を安置し、お坊さんにお経をあげてもらおうそうです。ここからお盆の時に坊さんのお経を上げてもらうことを「棚経」というようになりました。この「七」月「七」日の「夕」方になることから、当て字に「七夕」となったそうです。

### 【まとめ】

七夕の文化は古くは平安時代にはポピュラーな風習として浸透していたようで、当時は字の上達を願って和歌などを梶の葉に書いていました。今のように一般庶民にも広まりだしたのが、江戸時代だと言われ、笹に願い事を書いて結びつけるようになりました。

七夕の願い事は元々は手芸や字の上達などを願っていた行事であることから、例えば「お金持ちになりたい」というような願いでは無く、「習字が上手になりたい」と言った「技能の上達」を願う方が本来の七夕なのかもしれませぬ。

みなさんはどんなことが上手になりたいですか？